

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年5月2日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面…個人消費は、持ち直しの動きがみられる。**

大型小売店販売額(店舗調整後)、ホームセンター・家電量販店販売額ともに前年を上回った。(2月)
新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、
公共工事請負金額は前年を下回った。(3月)

● **産業面…鉱工業生産は、弱い動きの中にも持ち直しの動きがみられる。**

鉱工業生産指数は、全体では季節調整済指数が前月を下回ったが、主要4業種では前月を上回った。(2月)

● **雇用面…雇用情勢は、引き続き改善傾向にある。**

きまって支給する給与は前年を上回り、所定外労働時間も前年を上回った。(2月)
求人倍率は、新規は前月を下回ったが、有効は上回った。新規求人数は前年を上回った。(3月)

○ **需要面の動き**

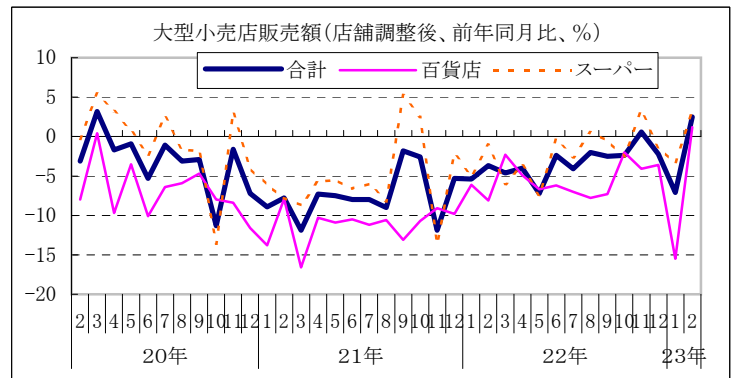
大型小売店販売額(2月)

全店舗の販売額は、48億2,800万円(前年同月比1.6%増)と8か月ぶりに前年を上回り、店舗調整後でも前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	482,800	1.6	(2.5)
百貨店	145,900	1.2	(1.2)
スーパー	336,900	1.7	(3.1)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(2月)

28億8,200万円(前年同月比8.6%増)と3か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(3月)

2,449台(前年同月比30.0%減)と7か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(3月)

196戸(前年同月比43.1%増)と2か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比3.2%増)、貸家系(前年同月比130.2%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(3月)

11億5,600万円(前年同月比123.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、製造業(前年同月比約22倍)等で前年を上回った。

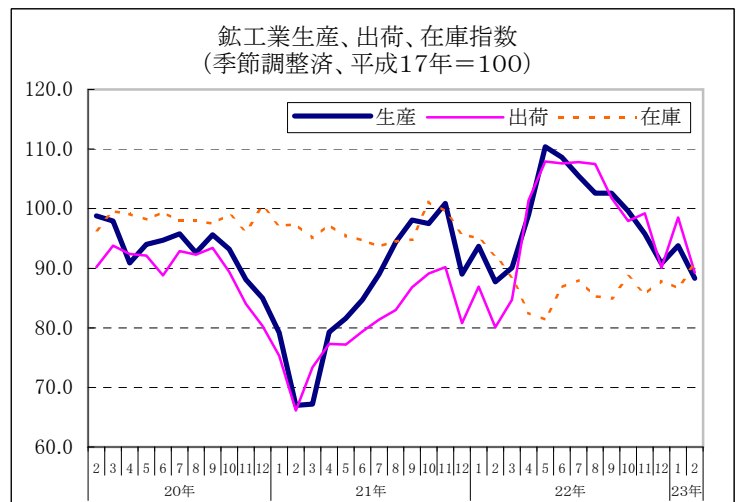
公共工事請負金額(3月)

100億8,200万円(前年同月比23.2%減)と9か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比23.1%増)は前年を上回ったが、県(前年同月比30.0%減)、市町村(前年同月比20.7%減)等で前年を下回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(2月)

生産指数(季節調整済)は88.3(前月比5.9%低下)の低下となったが、原指数は84.8(前年同月比0.7%上昇)と3か月続けて上昇となった。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが1.5%上昇となり2か月連続の上昇、電子部品・デバイスが1.0%上昇となり2か月連続の上昇、電気機械が2.1%上昇となり2か月連続の上昇、一般機械が45.1%上昇となり5か月ぶりの上昇となった。
在庫指数(季節調整済)は90.8と前月比4.7%上昇した。



大口需要電力実績(2月)

115, 538kwh(前年同月比4. 0%減)と5か月続いて前年を下回った。鉱工業用の大口需用電力を主要4区分で見ると、パルプ・紙及び機械の区分で前年を下回ったが、それ以外の区分では前年を上回った。

青果物卸売量(3月、鳥取市場)

野菜が1, 456t(前年同月比5. 0%増)と3か月続けて前年を上回ったが、果実は659t(前年同月比9. 8%減)と8か月続いて前年を下回った。

漁獲量(3月、境港)

10, 526t(前年同月比97. 4%増)と3か月続けて前年を上回った。

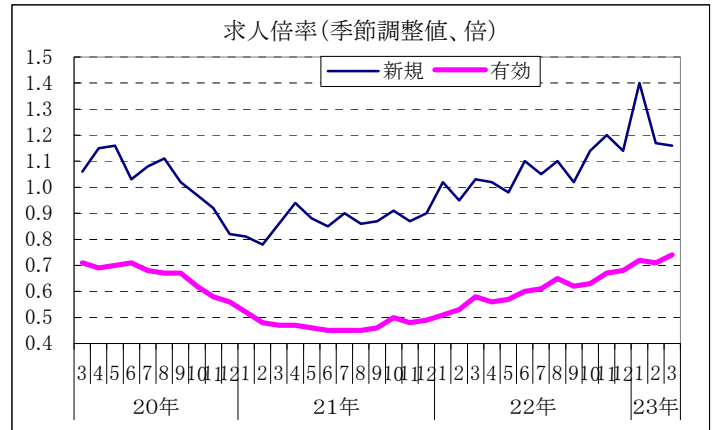
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(3月)

1. 16倍(前月差0. 01ポイント低下、前年同月差0. 13ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4, 577人(前年同月比7. 9%増)と8か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(3月)

0. 74倍(前月差0. 03ポイント上昇、前年同月差0. 16ポイント上昇)となっており、3か月続けて0. 7倍台となっている。



現金給与総額(2月)

239, 809円(前年同月比1. 4%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、239, 365円(前年同月比1. 3%増)で3か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(2月)

8. 4時間(前年同月比9. 1%増)と15か月続いて前年を上回った。主力の製造業は14. 2%増となった。産業別の前年同月比では、教育・学習支援業(前年同月比61. 5%増)等で前年を上回り、複合サービス事業(前年同月比27. 7%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(2月末)

預金残高は、1兆9, 870億円(前年同月比2. 4%増)と26か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1, 472億円(前年同月比0. 7%増)と22か月続いて前年を上回った。

○参考

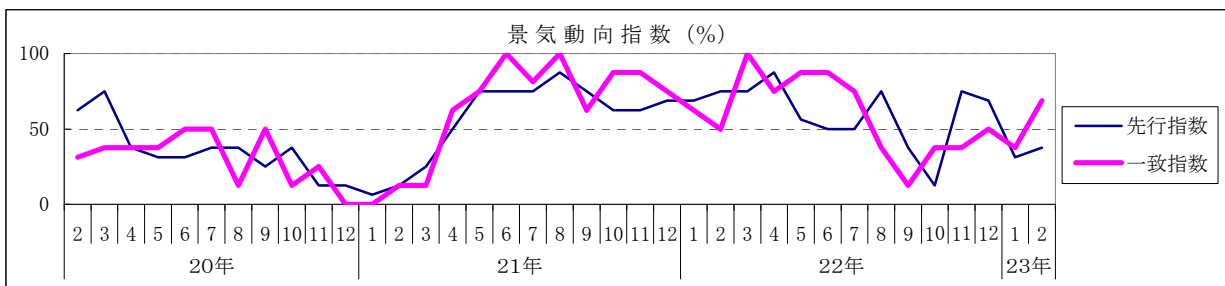
鳥取県景気動向指数(2月)

先行指数37. 5%、一致指数68. 8%、遅行指数40. 0%となった。

先行指数は2か月続けて50%を下回った。

一致指数は2か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は2か月続けて50%を下回った。



企業倒産(3月)

件数は7件で前年に比べて6件増加(前年同月比600. 0%増)となり、負債総額は38億2, 000万円の前年に比べて37億2, 000万円増加(前年同月比約38倍)した。

消費者物価指数(3月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98. 7となり、前月比と同水準、前年同月比も同水準となった。

鳥取県の推計人口(4月1日現在)

584, 982人で、前月と比べて1, 653人(0. 28%)減少し、前年同月と比べて3, 395人(0. 58%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年2月調査)

平成23年1~3月期は、平成22年10~12月期に比べると、景気及び経常利益がきわめて不調、売上高が不調となっている。

平成23年4~6月期は、平成23年1~3月期に比べると、景気が同程度、売上高及び経常利益がやや不調となる見通しとなっている。